



民医連加盟
保険薬局

はるか通信

No.237 2025年4月号

発行:株式会社 あゆみ調剤 はるか薬局

はるか通信編集委員会

北海道釧路市治水町6-2

TEL 0154-31-7811・FAX 0154-31-7773

<http://www.a-haruka.co.jp/>

（2024年度 あゆみ調剤総括集会を 開催しました）



先日、2024年度あゆみ調剤総括集会が開催されました。私たちの1年間の取り組みと課題として、1年間の業務の振り返り、研究や活動の結果の報告、日々感じていること、業務の中での提案等、各々が自らテーマを決め発表を行いました。今年度の総括集会では、16件の演題が提出され、様々な意見や感想交流がありました。

業務中では、多くの時間を割いて意見交換をすることは難しく、この集会を通して1年間の振り返りはもちろん、今後のよりよい薬局づくりに活かしていればと思います。

（事務：中井）

いつでも元気を読んで、 元気に！

全日本民医連が発行している雑誌「いつでも元気」が、2025年3月号で記念すべき400号を迎えました。今回は、記事の紹介を試みたいと思います。



ポーランドに住む丸山美和さんによる連載、「スラヴ放浪記」。3月号では体調を崩して同国の病院にかかったご自身のエピソードをとりあげています。

薬剤師としては、丸山さんが処方された薬(写真参照)が気になります。ポーランドの人達はどんな薬を飲んでいるのか？

写真の、瓶に入った「Contril」という薬は咳止めのようです。調べてみると、レボドロプロピジンという成分。日本で使われるチペピジン(商品名:アスベリン)に近いものなのでしょうか。



ポーランドの医薬品

「ERDOMED」という左上の薬は、エルドステインという成分。日本で使用される去痰薬のカルボシステイン(商品名:ムコダイン)に似たものでしょう。

右上に映っている「Ibuprofen」、これは日本で市販されているイブA錠などにも含まれる解熱鎮痛薬、イブプロフェンですね。なお、海外ではロキソプロフェンはあまり使われず、イブプロフェンやアセトアミノフェンが広く使用されているようです。

お国が違えば、薬も違い、行動や様式も違うのでしょうか。患者が病院内でもマスクをしていなかったり、診察室内で咳を試みるよう医師に言われるなど、医療事情が異なっているようです。

そのほか、「食と健康」のコーナーに掲載された、免疫力向上ご飯「チキンの塩麹トマト煮」を実際に作ってみました。トマトの酸っぱさと塩麹の醸す味わいが調和し、おいしかったです。

季節の変わり目は体調を崩しやすいものですが、見どころたくさん「いつでも元気」を読み、元気でいたいですね。

(薬剤師:岡部 正史)



あなたと民医連をつなぐ月刊誌

『いつでも元気』
読んでみませんか

- 定価: 380円(月1回発行)
- 編集: 全日本民主医療機関連合会
- 発行: (株) 保険医療研究所

※購読や見本誌を希望される方は
職員まで

健康づくり学習会のお知らせ

5月31日(土)10時〈予定〉～(はるか薬局待合室)

薬剤師による健康づくり学習会を開催いたします。
薬の飲み合わせをテーマに、お話する予定です。参加費は無料ですので、お時間のある方はぜひお立ち寄りください。
学習会後には、質疑応答の時間も予定しています。普段、薬剤師に聞けないことや、この機会に聞いておきたいことがある方もご参加いただければと思います。
詳しい内容が知りたい方は、薬局職員までお尋ねください。

臨時休業日および臨時開局日のお知らせ

臨時休業日

都合により、下記日程で臨時休業となります。

4月26日(土)、5月24日(土)

ご迷惑おかけしますがご理解ください。

臨時開局日

当番病院の処方応需のため以下を臨時開局日とします。
当番病院処方の対応が優先となりますのでご理解の上ご利用ください。

4月6日(日)、4月27日(日)、5月4日(日)、5月25日(日)

営業時間/9:00～17:00 ※いずれも日曜日の開局となります。

マイナ保険証での
受付および、電子処方箋の
受付対応しています。

はるか薬局
公式LINE
友だち
募集中!



～はるか薬局緊急時電話番号～



0154-31-7811または
090-3775-3026

夜間、日曜祝日等の閉店時で緊急の
対応を要する場合にご利用下さい。



お知り合いの薬剤師・薬学生の方を
ご紹介下さい 奨学金制度もあります

※詳しくは、あゆみ調剤までご連絡下さい。

☎ 0154-31-7811